

セラテックジャパン株式会社

平成26年度

■事業計画名

非接触式3次元測定機の導入と高脆材料の高精度多穴加工技術の開発

■概要

電子部品の小型化が進むにつれ、高脆材料であるファインセラミックス加工への要求も、より高精度なものになってきている。

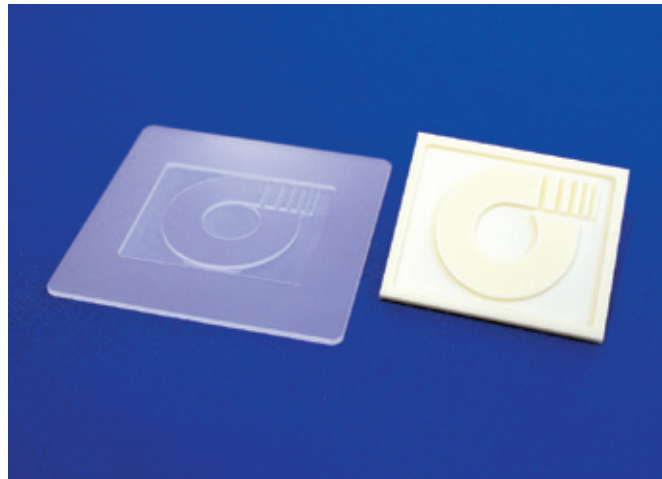
業界の技術革新のためには加工精度向上が必要不可欠であり、特に微細穴加工の実現は重要な位置にあるため、高精度多穴加工技術の確立を目指す。

■分類

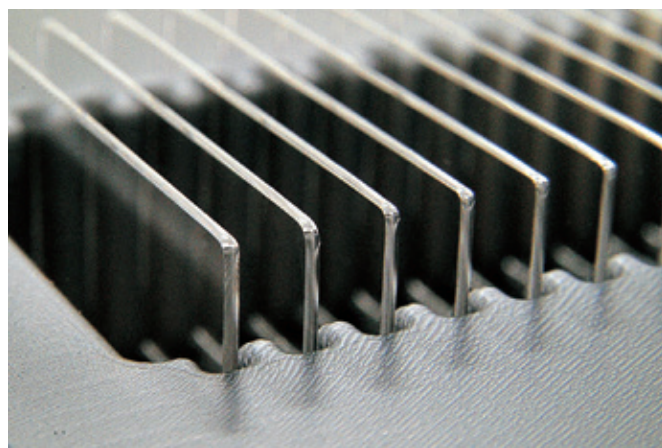
- ＜対象類型＞ ものづくり技術
精密加工
測定計測
- ＜事業類型＞ 設備投資のみ

■成果

非接触式3次元測定機を導入することで、大口径サイズに対応できるようになり、さらに測定精度が向上し、量産品の測定時間も短縮された。また芯出し顕微鏡を用いることで加工位置精度が向上し、超音波ユニットによって加工寸法バラツキが抑えられたことで、高精度多穴加工の実現に近付いた。



マシニング加工品



端面研磨



ポリッシュ研磨

好機逸すべからず

「ものづくり補助金」採択企業を訪ねて

セラテックジャパン株式会社（長野市）

独立系加工専門メーカーとして技術の幅を広げ、あらゆる加工ニーズに応える企業を目指す。

自主独立の道を歩む

セラミックスやガラスなど硬くてもろい脆性材料の高精度加工に特化し、電子部品・光学部品メーカーから高く評価されているのが、セラテックジャパンです。



脆性材料の加工工程

同社はもともと下請けとしてセラミックス等の切断を手がけていました。独自に創意工夫を重ね、加工精度を高めるとともに大幅なコストダウンに成功し利益体質を確立。切断から研削、研磨（ラッピング、ポリッシング）と技術領域を広げ、業容拡大を図りました。そして独自技術を武器に下請けからの脱皮を図ろうと、自らの営業努力で直接受注を獲得していく経営に転換。以来、「提案型加工サービス」を提供する加工専門メーカーとして、系列や特定企業に依存しない自主独立の道を歩んでいます。

現在、電子部品に使われる各種セラミックス、ガラス、機能結晶などのラッピング加工、ポリッシング加工の受注が特に多く、忙しい毎日です。

「電子部品の高効率化に欠かせない、ヒートシンクと呼ばれる熱伝導性にすぐれた絶縁材料を高精度に加工する技術があり、特にその注文が集まっています」と西野入隆取締役事業推進部長。他社では難しい加工に対応できる技術的優位性により、大手上場企業を中心とする顧客から厚い信頼を得ています。

加工技術で困り事に対応する会社に

「お客様からの図面に研磨だけでなく、穴開け加工の仕様が入っていることがあります。それは本来当社の得意技術ではありませんが、それも含めて加工できれば当社にとってさらに大きな強みになると取り組みました」既存技術で業績が伸び



超音波ユニットを取り付けたマシニングセンター

ている同社ですが、それに甘んじることなく顧客の新たなニーズをくみ取り新しい技術を確立していこうと、ものづくり補助金を活用。非接触式3次元測定機、位置決め精度を高める芯出し顕微鏡、マシニングセンターに取り付ける穴開け加工用の超音波ユニットを導入しました。高精度な穴開け技術を取り込み、ウエハプロセスの製造技術を確立しました。

西野入部長は同社の将来構想について次のように話します。「電子部品など既存分野にとらわれず、お客様のニーズをできるだけ取り込み、加工技術のレパートリーを広げていきたい。加工技術でお客様の困り事に対応する会社として業界で認知されていきたい」。

同社は平均年齢30代前半。若者の採用、育成に積極的で、子育て支援や働きやすい職場環境づくりにも力を入れています。2015年には子育てサポート企業として厚生労働省が認定する「くるみん」認定、「職場いきいきアドバンスカンパニー」認証を受け、16年には「ユースエール認定」制度において長野県初の認定企業となりました。



芯出し顕微鏡

育児休暇制度の取得率は比較的高く、復帰率は100%。それは職場部署内はもちろん、部門を超えた社員同士の協力体制の賜です。



セラテックジャパン株式会社

代表 代表取締役社長 平林 明
創業 1968（昭和43）年11月
資本金 1億円 従業員数 182名
本社 長野市篠ノ井岡田500



TEL.026-293-9666 FAX.026-293-9667

事業内容 各種セラミックス、ガラス、水晶、石英、機能結晶等の加工など